

故郷の山を訪ねて(個人山行)

(報告)TI

◎ 山行期日：2024年4月11日～14日 （本宮山、上臈岩、石巻山から葦毛湿原）

◎ メンバー：TI（単独）

高校の同窓会に出席するために帰省するのにあわせ、愛知県の山を再び歩いてみることにした。

◇4月11日 本宮山

本宮山は三河平野の西にそびえる山で標高 789.3m。砥鹿神社の奥宮が祀られている。山頂にはたくさんのテレビの中継塔が建っている。子供の頃にこの中継塔の送電線に小動物が引っかかりゴールデンタイムのテレビ番組がNHK以外すべて映らなくなったり、冬になるとこの山から麓に向かって吹く『本宮風（おろし）』に苦労した思い出深い山である。

今回は王道？の砥鹿神社奥宮の参道を通して登ることにした。前日の夕方、自宅を出発し新東名・遠州森町SAで車中泊し、麓のウォーキングセンターからスタート。砥鹿神社の鳥居をくぐり登山道に入ると出だしからなかなかの急登が続くが、途中途中の峠には「鹿跳峠」「鶯峠」「野猿峠」と動物の名前が付けられており楽しく想像しながら歩いて行った。やがて馬の背と言われる岩場の登山道が現れその先に鳥居が見えたので奥宮も近いかな？と思ったがまだまだ先は長く、登り始めて2時間少しでようやく奥の院に到着することができた。奥の院の裏手から中継塔の立ち並ぶ山頂に向かう。

山頂からは三河平野を見下ろすことができたが、この日は霞んでいてあまり遠くまで見るができず残念であった。昼ご飯には少し早かったので下山途中で食べれば良いかと思い山頂から反対方面に下って再び山の中に入ったが、道が少し不明瞭で不安になってしまった。なんとか赤テープやロープを見つけて歩いて行ったがどうやら下山に選んだ尾根ルートはバリエーションルートに近く、途中歩きやすいところや眺望の良いところもあったが岩場を乗り越えたり下ったりの連続で登山道を抜けからの下道も長く結局昼ご飯を食べ損ねて下山となってしまった。三河でも人気があり、山行レポもたくさん出ているので楽に登れる山かと思ったが思いの外大変な山であった。



下山後は近くの本宮の湯で汗を流し遅めの昼飯を食べ、砥鹿神社本宮を参拝する。またこの辺りは長篠の合戦の跡地なので資料館や合戦場跡の馬防柵をのんびりと見学しこの日は鳳来三河三石で車中泊。

◇4月12日 上臈岩

愛知県民の森(モリトピア)から宇連山に向かう北尾根と東尾根の合流点からバリエーションルートを辿り、尾根道の先に鳳来湖に吸い込まれるような断崖絶壁の岩峰が佇む上臈岩を目指す。

学校の遠足で何回か訪れたことのある愛知県民森の駐車場からスタート。しばらくはのんびりと林道を歩くが、東尾根に入ると急登が始まり岩の上を歩いたりアップダウンの多い道を進んで行くとやがて上臈

岩の周回コースの入口となる。

途中に地図が書かれた標識が木々に掲げられているので迷う心配はない。所々に展望台が設けられ中でも第二展望台周辺はヒカゲツツジが群生しておりまさかここで見られるとは思わなかったので大満足であった。また山と渓谷社から出版されている「愛知県の山」の表紙の景色を見ることができた。馬の背の岩稜帯を抜けると裏の上臈を抜け上臈岩へ到着となった。眼下には鳳来湖、遠くには三瀬明神山や奥三河の山々を見ることができた。中の上臈で昨日は食べ損なったヤマ飯(と言ってもカップラーメンだ)を先ほどまでいた巨岩の上臈岩を眺めながら摂るという贅沢な時間を味わった。

下山はシュートン沢を下り駐車場脇にあるモリトピアのお風呂で汗を流し、湯谷温泉に立ち寄った。ここは子供の頃、脇を流れる宇連川に泳ぎに来た所だ。温泉街の入口に今もある店で五平餅を食べたかったがこの日は休みで残念だった。この日は道の駅もつくる新城で車中泊。



◇4月14日 湖西アルプス縦走(石巻山～葦毛湿原)

故郷の山歩き最終日は前回、時間がなくて一部しか歩けなかった湖西アルプスを今回は欲張って石巻山から縦走することに。石巻山は小学校から高校までの校歌に必ずこの山の名前が登場し、社会人になってもこの山の麓の会社に勤めていたこともあるくらい縁のある山だ。今回この登山計画をシリアスのMLに流したところ愛知支部のYAさんとKYさんから「一緒に歩きませんか？」とお誘いを受け石巻山山頂で待ち合わせの約束をする。

朝、実家から弟に車で石巻山間場登山口に送ってもらい登山開始。最初は急登だがしばらく歩くとなだらかになり30分ほどで中腹の石巻神社に着いた。今日の安全を祈願しお二人が待つ山頂へ向かう。名前の通り石がゴロゴロした道を登っていくと358mの山頂に到着。ここでYAさんとKYさんに初対面。少し休憩しYAさんを先頭に縦走開始。歩きながらシリアスとの出会いの事や山の話をしながらいらだすまで一緒に行く。春霞でパラダイスからは浜名湖や富士山は見ることはできなかったが、経験豊富な二人と歩く事ができとても良い経験となった。



二人と別れて神石山を超えのんびりと花を眺めながら葦毛湿原を目指す。葦毛湿原は東海のミ二尾瀬と言われ花の百名山に選定されているとの事。前は花の少ない時期だったが、今回はスミレやハルリンドウなどたくさんの春の花を見ることができた。

愛知県には三百名山すらないが、歩いてみると良い山はたくさんある。登山口までは車が必要な山が多いが、次回は三瀬明神山や茶臼山など奥三河の山に訪れてみたいと思う。